

ぬふぁ
伊野波節
(本調子)

あ ゆ ついら
逢わん夜ぬ辛さ アヌンゾヨ

ゆす う
余所に思みなちゃみ アヌンゾヨ

うら しぬ
恨みていん ハイヤマタ 忍ぶ

くい なれ
アヌンゾヨ 恋ぬ習やヨ

貴方と会えない夜はとても辛いのです

あなたは他の女性を思っているのですか

恨めしく思いつつも忍んで貴方に会いに行く

これが恋の習いなのでしょう

< 舞踊 >

< 参考掲載 >

ぬふぁ いし
伊野波ぬ石くぶり アヌンゾヨ

んぞ つい ぬぶ
無蔵連りてい登る アヌンゾヨ

いし
ねふいん石 ハイヤマタ くぶり

と
アヌンゾヨ 遠さはあらなヨ

伊野波の石ころ道を

愛しい人を連れて登っていく

難儀な道だが

(一緒にいる今なら)
もっと道のりが遠い方がいい

< 古典 >

